

青学ビジネスフォーラム 2009（第3回）開催のご案内

青山学院大学では、「首都圏南西地域産業活性化フォーラム」の一翼を担う形で「青学ビジネスフォーラム」を2004年に立ち上げ、地域の企業の方々との交流を促進し、産学連携ビジネスに結びつける努力をしております。

以下に2009年度第3回の講演会をご案内します。今回は「未来を拓く宇宙技術」をテーマにご講演をお願いしました。ご希望の方は連絡先までお知らせいただきますようお願いいたします。

★青学ビジネスフォーラム（第3回）

主 催： 青山学院大学総合研究所

協 力： 首都圏南西地域産業活性化フォーラム運営委員会、相模原市

開催日： 平成21年10月3日（土曜日） 14時から16時

場 所： 青山学院大学相模原キャンパス K棟2階(209号室)ミーティングルーム

会場案内図は青山学院大学ホームページをご覧ください。

お車でのご来場はお断りします。

定 員： 参加人数に制限はございませんが、事前に参加お申し込みいただけますと準備の都合上助かります。なお当日でも受け付けますのでお気軽にお越しください。

講演内容：

☆「月探査衛星”かぐや”のロマンと秘話」

講師：高野 忠（宇宙航空研究開発機構・名誉教授、日本大学理工学部・教授）

“かぐや”は生まれる前（打ち上げ成功するまで）は、**SELENE** と呼ばれました。これは、「月学技術探査機」という意味で、何ともいかつい。しかし、それがかぐや姫の話と重なると、優雅なイメージになってしまいます。本講演では、このいかつい技術と優雅な成果について、お話します。

技術的な点では、私が絡んだ重力測定が最右翼と思います。これは”かぐや”が月の上を飛ぶ時、重力で軌道が微妙に変わる（ドップラー周波数が変わる）ことから、重力の分布を逆算するものです。しかし一般人気という点では、高品位テレビの月面映像の方に軍配があがります。やはりいかついものより、優雅な方が好かれるというわけです。秘話としては、いかつい面でミッション選定、優雅な面で愛称選び、についてご紹介します。

“かぐや”は筑波で生まれ、相模原で育ちました。夢を与えただけでなく、その知識・技術がビジネスなどでも役立つことを願っています。

☆ 「国際宇宙ステーション計画とその利用」

講師：堀川 康（宇宙航空研究開発機構 技術参与）

今年、若田宇宙飛行士が宇宙ステーションに長期滞在し、日本の宇宙ステーション構成要素（きぼう）の最終組み立てが行われました。国際宇宙ステーションは米国、ロシア、欧州諸国、カナダ、日本が参加して建設されている宇宙の実験施設です。

20年以上にわたる宇宙ステーション開発の経緯と今後の展望ならびに宇宙ステーションでのさまざまな実験や利用活動について紹介するとともに、この施設をさらに有効に活用するための方策についての取り組みを紹介します。

★ 青学ビジネスフォーラム講演内容は、南西フォーラムのサイトからリンクをたどりユーザ登録をすることで、インターネット画像でご覧になれます。

南西フォーラムのサイト <http://nansei.ssz.or.jp>

★ 参加申込み方法（当日まで受け付けます）

電子メールないし FAX で以下の内容を事務局宛にお知らせください。

・氏名 ・企業名 ・住所 ・電話/ファックス番号 ・E-mail

★ 参加申込み先（事務局）

宛先：青学ビジネスフォーラム事務局 水澤純一

住所：〒252-5258 相模原市中央区淵野辺 5-10-1 青山学院大学理工学部 O 棟 501 号室

TEL： 042-759-6318

FAX： 042-759-6495

E-mail： mizu@it.aoyama.ac.jp